

泌尿器科

当科では主として尿路性器悪性腫瘍(前立腺癌、膀胱癌、腎癌、精巣癌など)の診断・治療を中心に行っております。治療としては手術のみならず、放射線療法や抗癌剤を使用した全身化学療法なども積極的に行っております。その他、前立腺肥大症・尿失禁などの女性泌尿器疾患・神経泌尿器疾患も増加しており、適宜対応しています。なお、下部尿路結石(膀胱・尿道結石)は当院にても治療可能ですが、上部尿路結石(腎・尿管結石)の結石破砕術に関しては、四日市羽津医療センター泌尿器科と連携し、治療を行っています。また、男性不妊症・男性更年期障害など男性特有の疾患を扱う男性外来を、完全予約制で行っております。

◆入院疾患の概要

疾患名	手術名	H7-29年の件数	H30年の件数
前立腺癌	根治的前立腺摘出術	113例	3例
膀胱癌	膀胱全摘術、尿路変向術	84例	1例
膀胱癌	経尿道的膀胱腫瘍切除術	1090例	46例
腎癌	根治的腎摘出術/部分切除術	110例	5例
腎盂癌・尿管癌	腎尿管全摘術	76例	2例
精巣癌	高位精巣摘出術	60例	1例

また、前立腺肥大症や膀胱癌に対する経尿道的前立腺切除術や経尿道的膀胱腫瘍切除術などの内視鏡的治療法である経尿道的切除術(TUR: transurethral resection)では電解質溶液下で良好な切開性能が得られるTURis (TUR in saline)システムを採用し、良好な成績を得ております。

◆主疾患治療プロトコール(クリニカルパスを含む)

症例数の多い経直腸的前立腺針生検や経尿道的膀胱腫瘍切除術をはじめ、各入院検査・手術ではクリニカルパスを用いています。また、疾患別標準資料・説明書を作成し、患者さんの説明に用いています。

一方、悪性疾患(癌)に対する化学療法も積極的に行っております。腎細胞癌においては分子標的薬による治療に加えニボルマブも導入しており、進行膀胱癌(尿路上皮癌)の全身化学療法としてはジェムシタビンやタキサン系抗癌剤を中心とした化学療法その他、最近ではペムブロリズマブの導入など種々の化学療法を行っています。少量の抗癌剤を併用した化学放射線療法も行っています。また、内分泌療法抵抗性となった去勢抵抗性前立腺癌でもタキサン系抗癌剤を用いた化学療法を積極的に行っております。さらに、前立腺癌の多発骨転移に対して、塩化ラジウムの放射線内用療法も開始しました。

前立腺癌を診断する経直腸的前立腺生検は前立腺体積にもよりますが、初回生検であれば少なくとも10ヶ所以上の多数ヶ所生検を1泊2日の入院で行っています。また、通常では難しかった領域での検出率を上げるため、H28年度よりMRI同期エコーガイド下ターゲット生検も始めております。

◆その他

当科では患者さんとの十分な説明と話し合い・相談の上で、治療法の選択を行い、患者さんに満足頂ける最善の治療を行うことを目指しております。

前立腺生検件数の年別推移

